

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和2年6月20日

作成者：橋野 浩美

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
(特活) あしやNPOセンター	
事業名	日時(期間), 場所
ようこそ!わたしたちの未来へ トークセッション・憲法&平和 de まちづくり	令和元年11月17日(日)14時~16時 あしや市民センター
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
スピーカー: 山中健さん(前芦屋市長)、吉江仁子さん(弁護士)、あしや部(高校生5人) コーディネーター: 津久井進さん(弁護士) ・弁護士による憲法紙芝居 ・山中氏が日本国憲法を守りながら取り組んできたまちづくりについて、高校生と共にトークセッション ・長岡徹さん(関西学院大学教授)による講評	(102)人
	参加者数
	(102)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
高校生からは、憲法紙芝居により日本国憲法を身近に感じ、さらに山中氏や吉江弁護士の話で、まちづくりに生かされる憲法の理念を理解することができたとの意見であった。参加者の大人たちにとっては、高校生の意見が新鮮で、頭を柔らかくできたとの意見をいただいた。 上記の大人と子どもの意見からもわかるように、難しい言葉も、誰もがわかりやすく伝えるだけで、ポジティブシンキングになり、社会の仕組みを理解し、次世代へとつなげることが難しくないと実証できた。	
今後の展望(どのように継続, 発展するか)	
高校生のあまりなじみのない「憲法」を題材に大人と意見交換をする機会を設け、大人たちを「柔らか頭」にした。このように、多世代、異業種、多様な団体の交流や、学ぶ場を広く設け、活動人口100%のまちを目指します。 また、年度末からコロナ禍で、様々な事業が立ち行かなくなっていますが、オンラインセミナーや、「ためまっぷ芦屋」での地域の情報発信など、今までになかった試みに取り組み、芦屋市がずっと元気なまちであるよう努めます。	